

令和7年度 第2回次世代空モビリティひょうご会議

令和8年3月12日
10:30~12:00
兵庫県庁2号館5階庁議室

会議次第

02

1	開 会
2	R7空飛ぶクルマ実装促進事業採択事業成果報告 ①事業概要説明 ②採択事業者による成果報告（2事業者）
3	(1) R8年度当初予算における空飛ぶクルマ事業 (2) 来年度の会議実施方針～地域分科会実施に向けた検討～
4	国における空飛ぶクルマ事業の方向性及び県地域分科会に期待すること 【近畿経済産業局による発表】
5	意見交換
6	閉 会

【会議資料】

- 資料1：①令和7年度空飛ぶクルマ実装促進事業（P.07～）
②令和8年度当初予算における空飛ぶクルマ事業（P.09～）
③今後の会議実施方針等～地域分科会実施に向けた検討～（P.13～）
- 資料2：空飛ぶクルマ実装促進事業採択事業成果発表資料
- 資料3：近畿経済産業局発表資料

構成員出席者

03

区分	所属・職名等	氏名	備考
有識者	県立大学自然・環境科学研究所 教授	赤澤 宏樹	
	株式会社BUZZPORT 代表取締役	江藤 誠晃	
	公益財団法人新産業創造研究機構 専務理事	川村 昌志	
	株式会社神戸新聞社 メディアビジネス局長	箸本 史朗	
	慶應義塾大学大学院SDM研究所 顧問	中野 冠	
事業者	オリックス株式会社国内事業推進部モビリティイノベーションチーム担当課長	野澤 義直	
	兼松株式会社 航空宇宙部第1課 課長代理	中村 康平	
	株式会社SkyDrive 国内事業マネージャー	戸村 竜也	
	全日本空輸株式会社大阪支店 副支店長	嘉賀 朋久	随行：マネージャー 林 堅偉
	日本航空株式会社 エアモビリティ創造部部長	村越 仁	(オンライン) 随行：シニアアドバイザー 佐々木 康人
	株式会社パソナグループ 執行役員	大出 亮	
	丸紅株式会社 航空宇宙部シニアアドバイザー	菊池 武夫	
オブザーバー	経済産業省製造産業局航空機武器産業課次世代モビリティ政策室 室長補佐	別木 慧	(オンライン) 随行：係長 田中 浩志 (オンライン)
	国土交通省航空局安全部無人航空機安全課 室長	山本 昂太郎	(オンライン) 随行：主査 白敷 ひかり (オンライン)
	大阪府商工労働部成長産業振興室産業創造課 課長補佐	佐々田 修之	(オンライン)
	神戸市都市局未来都市推進課 課長	小泉 陽司	随行：都市局未来都市推進課係長 佐野 聡
	尼崎市経済環境局経済部産業政策課 課長	西岡 努	(オンライン)
スピーカー	近畿経済産業局産業部製造産業課課長補佐	平松 幸峻	随行：産業部製造産業課総括係長 藪田 幾子 調査官 浦口 真実

兵庫県出席者

04

所属・職名等	氏名	備考
企画部長	守本 豊	
産業労働部長	小林 拓哉	
企画部次長	井筒 信太郎	
産業労働部次長	中村 浩明	
産業労働部新産業課長	福田 靖久	
[事務局（企画部総合政策課）]		
政策推進官兼副課長	森田 晃	
主査	高田 慎也	

空飛ぶクルマ実装促進事業採択事業 成果報告 発表者

05

	採択事業名	事業者・発表者職名	氏 名
1	①コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクトの推進 および空飛ぶクルマのある「みなとまち神戸」の検討プロジェクト ②御食国淡路島内バーティポート整備準備	兼松（株） 航空宇宙部第1課 課長代理	中村 康平
2	①関西・瀬戸内エリアにおける空飛ぶクルマ社会実装事業 ～関西・瀬戸内”空の廊下”構築プロジェクト～	（一社）MASC 空飛ぶクルマ部会飛行チーム	保坂 淳一 高見 恭司 堀江 達大
	②自治体等を対象とする観光・救急・防災等への活用セミナー による社会受容性向上の取組み	（株）建設技術研究所 東京支社交通システム部 技師	荻生 麟太郎

※次第2「空飛ぶクルマ実装促進事業補助金採択事業成果報告」の発表順は上記の通り

令和7年度 空飛ぶクルマ実装促進事業 採択事業成果報告

令和7年度空飛ぶクルマ実装促進事業(概要)

08

- 令和5年度より県内でビジネス化を目指す事業者の取組を支援
- 今年度はこれまでの事業を通じて得られた成果や課題を踏まえ、**実現性の高い4事業を支援**

補助内容

補助対象者	兵庫県域のみで事業を行う事業者		
対象事業(採択区分)	(1)飛行実証等ビジネス化に資する事業(採択後5年間のビジネス構想提出が必須) (2)ビジネスモデルの検証に資する事業 (3)離着陸場設置の準備事業		
補助割合	対象経費の1/2以内	補助額(上限)	(1)3,000万円、(2)500万円、(3)1,000万円

採択事業

【採択事業者①】 兼松(株)

事業1:コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクトの推進および空飛ぶクルマのある「みなとまち神戸」の検討プロジェクト [採択区分(2)]

①城崎・神戸地域の離着陸場候補地の事業性検証(就航率・電力供給の調査)、②但馬地域での格納庫等の拠点整備に向けた調査、③環境省開発許可取得調査(騒音・景観・バードストライク回避策等)、④機運醸成に向けたシンポジウム

事業2:御食国淡路島内バーティポート整備準備 [採択区分(3)]

淡路島内における離着陸場設置の基本設計等を策定

【採択事業者②】 (一社)MASC

事業1:関西・瀬戸内エリアにおける空飛ぶクルマ社会実装事業 [採択区分:(1)]

①オペレーション人材の訓練(パイロット4名(慣熟訓練)[うち2名は指導員資格取得]、整備士2名)、②通信不安定環境下での飛行実証、③水上ポートの可能性調査、④事業スキームと採算シミュレーション表の作成

事業2:自治体等を対象とする観光・救急・防災等への活用セミナーによる社会受容性向上の取組み [採択区分:(2)]

勉強会を開催し、自治体との個別意見交換を開始(尼崎・淡路・神戸の計3回開催、県内7自治体31名が参加)

令和 8 年度当初予算における空飛ぶクルマ事業

令和8年度当初予算における空飛ぶクルマ事業

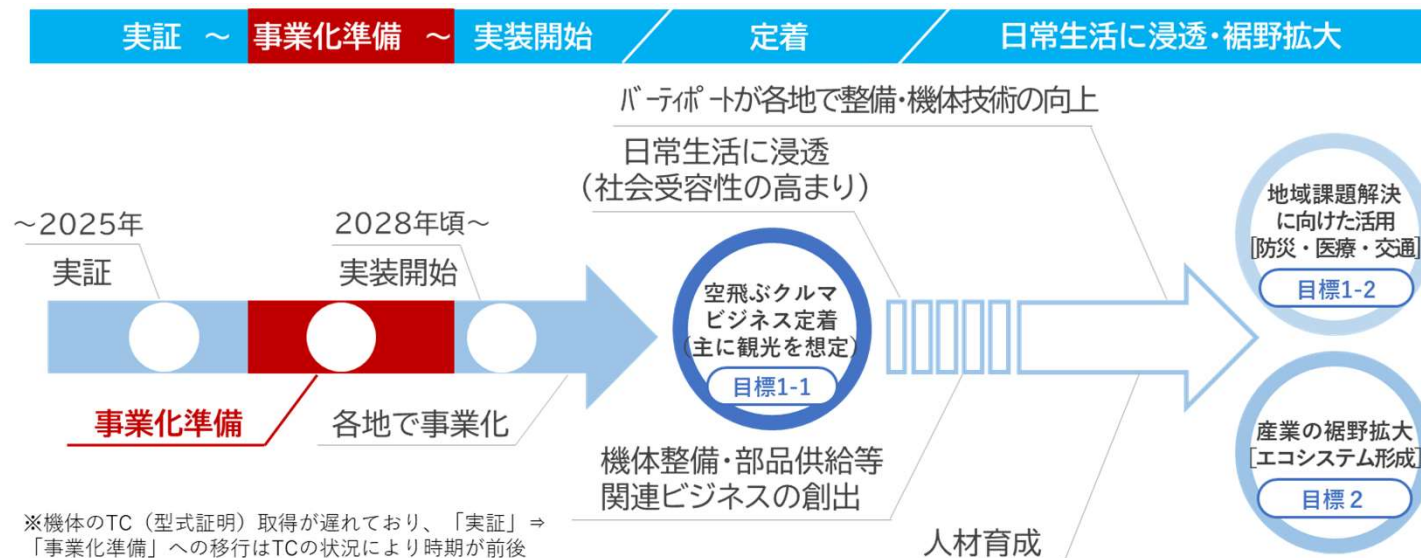
10

商用運航（ビジネス化）実現を目指して取組を進める地域を重点とした支援を実施

～R7
（これまで）

県内での社会実装実現の可能性を検討するため、**実証等への支援**や**社会受容性向上等**の取組を県内全域を対象として実施

（参考）
兵庫県が目指す将来の姿
実現に向けたステップ



R8年度空飛ぶクルマ事業

1

空飛ぶクルマ事業化準備事業

2

次世代空モビリティひょうご会議
+ 地域分科会

令和8年度当初予算における空飛ぶクルマ事業

1 空飛ぶクルマ事業化準備事業

新規

 予算額 **60,366**千円

空飛ぶクルマの早期実装を目指し、離着陸場整備や運航マニュアル作成等の「事業化準備等」支援へと段階を進め、**県内での実装に直結する**事業者等の取組を支援

本事業のポイント

Point1：実装に向けてステップアップ

実証

事業化準備等

Point 2：地域との接点を要件化

事業者



自治体

実装予定自治体との定期的な情報共有等

補助内容

区分	内容
対象者	県内での事業化準備を行う事業者
対象事業	(1)試験飛行や運航マニュアル作成、離着陸場整備等、事業化に係る取組 (2)新たな事業化を見据えた離着陸場候補地調査 等
補助上限	(1)30,000千円、(2)5,000千円
補助率	1/2

スケジュール(予定)

R8.3月下旬	公募開始・説明会
R8.5月下旬	審査
R8.5月末	採択決定
R8.6月頃～	事業開始

令和8年度当初予算における空飛ぶクルマ事業

12

2 次世代空モビリティひょうご会議 継続

県内での社会実装実現に向けて有識者や事業者等と意見交換を行うとともに、空飛ぶクルマの取組を発信するため、引き続き次世代空モビリティひょうご会議（全体会）を実施

本事業のポイント

Point：新たに「地域分科会」を実施

地域のステークホルダーと意見交換等を行い、商用運航（ビジネス化）実現に向けた取組を効果的に実施



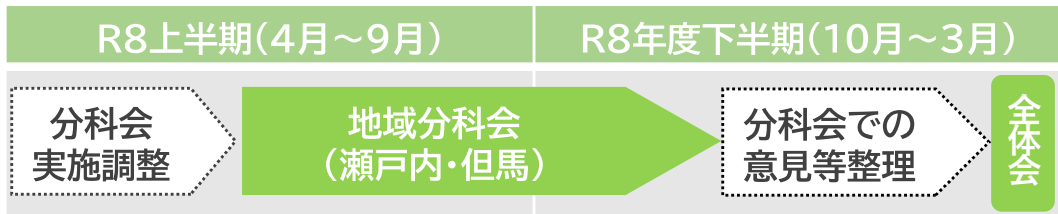
次世代空モビリティひょうご会議(全体会)

区分	内容
開催時期	年1回程度開催予定（時期は年度末を想定）
構成員	有識者、事業者、ガザバー（国、大阪府、県内市町等）
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> 空飛ぶクルマに関する最新動向の情報共有 地域分科会の取組報告、実施方針検討 空飛ぶクルマ事業化準備事業の取組報告 県空飛ぶクルマ事業取組方針の検討

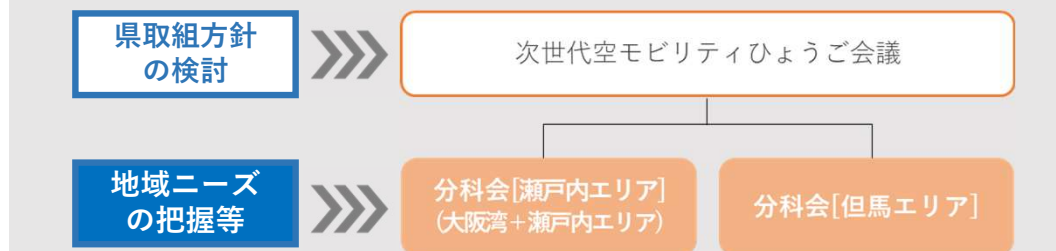
地域分科会(案) ※詳細は別途検討

区分	内容
開催時期	上半期での実施を想定（時期は別途調整）
参加者	地域関係者(市町・関係団体等)、空飛ぶクルマ事業者、 ※必要に応じて有識者の参加も想定
会議内容(方向性)	※次頁で検討

全体会と分科会の流れ(想定)



設置イメージ



来年度の会議実施方針～地域分科会実施に向けた検討～

地域分科会の実施に向けた検討

実施目的

今後の空飛ぶクルマ事業における当面目標である「**県内での商用運航（ビジネス化）の実現・定着**」を目指すため、**事業化に向けた取組が進められている地域を中心**として、各地域のニーズに応じた検討を進めていく

県内での取組状況(実装促進事業による取組)

- ・城崎地域での協議会設立
- ・シンポジウムや勉強会の開催

豊岡(城崎)



神戸

大阪

淡路



- 大阪湾エリアでの
- ・ビジネスモデル検証
 - ・離着陸場設置検討
 - ・デモフライトの実施



提供元: Bing
© GeoNames, Microsoft, Zenrin

県内では

- ①但馬（城崎エリア）地域
- ②淡路（大阪湾エリア）地域

で取組が先行

商用運航実現に向け、**各地域の地域特性やニーズを踏まえた具体的な検討**が必要

先行する地域において、空飛ぶクルマの拠点を形成し、将来的に県内各地へ波及させる

地域分科会の実施に向けた検討

● 分科会の方向性を検討するにあたって周辺状況の整理（国等の動き）

- ・ 国においても空飛ぶクルマを**成長分野として位置づけ取組を推進**する動き
- ・ 「大阪・関西万博後の社会実装のイメージ」が公表され、R10年頃から一部先行地域で商用運航がスタートするとされており、今後ますます**実装に向けた動きが本格化**

国動向①：【内閣官房】日本成長戦略会議

- ・ 官民連携の戦略的投資を促進し、我が国の経済成長を実現するため、R7.11月に日本成長戦略会議を設置
- ・ 17の戦略分野のうち「**航空・宇宙**」分野において、**空飛ぶクルマが検討テーマ案として挙げられている**

国動向②：【内閣官房】地方創生に関する総合戦略

- ・ R7.12月に閣議決定された同戦略において、「**豊かな生活環境の実現**」のため、新しいサービス展開や都市や地方における課題解決に向けて、**空飛ぶクルマの社会実装を推進する**旨、言及されている

国動向③：【国交省】観光立国推進基本計画

- ・ R8.1月に次期観光立国推進基本計画(素案)が提示され、地上の観光体験と上空からの眺望体験を組み合わせた**新たなビジネスモデルを構築し、空飛ぶクルマを活用した新たな観光価値創出**を促進する旨言及されている

▶ **国の動きと連携して、本県でも地域と連携して空飛ぶクルマの取組を盛り上げていく必要**

【自治体】全国を取組状況(都道府県での協議会設置状況)

- ・ 空飛ぶクルマの実装を検討するため、都道府県が開催する協議会が**関東地方～四国地方まで数多く設置**
※都道府県以外には基礎自治体が設置する協議会も複数ある

設置状況(※兵庫県除く)

東京都	大阪府
山梨県	奈良県
長野県	和歌山県
静岡県	香川県
愛知県	愛媛県
三重県	



※事務局調べ

▶ 多数の地域の中から
兵庫県が魅力ある地域として就航先・実装先に選ばれる必要

【近畿経済産業局】「関西における次世代空モビリティビジネスに関するポテンシャル事業調査」の公表

- 近畿経済産業局において、**空飛ぶクルマの観光分野におけるポテンシャルに着目**した次世代空モビリティビジネスに関する今後の展望等を示す調査報告がR7.6月に公表
- 調査報告では、関西が次世代空モビリティビジネスの**魅力的な地域であることを民間事業者へ発信**すること等により、ビジネス化に向けた動きに繋げていくため、**広域的な運航ルートや離着陸場候補地等の検討**が行われた。
- 同調査内で実施された事業者へのヒアリングにおいて、**事業者が検討する運航ルート次のとおり**

事業者へのヒアリング結果 (図出典:近畿経済産業局「関西における次世代空モビリティビジネスに関するポテンシャル調査事業」)

1 運航ルート(大阪府関連)



- 兵庫県に関連する運航ルートとして**大阪が関連するルートが多く検討**されている
- 淡路島方面や但馬方面（神戸経由）のルート等が多く検討されているが、神戸～但馬間は運航距離が長いいため、**運航初期は淡路島との連携の可能性が高い**

2 運航ルート(大阪府以外)



- 兵庫県に関連する運航ルートとして神戸～但馬間や但馬～京都北部間、淡路島～姫路間等、県域を縦横に移動するルートが検討されている
- 神戸～但馬間は運航距離が長いいため、運航初期は**但馬～京都北部間**や**淡路島～姫路間の連携の可能性が高い**

地域分科会の設置に向けた検討

● 分科会の方向性について当会議構成員（事業者）への聞き取り

事業者 A

- 事業化実現にあたっては、一つの地域だけでは成り立たないため、**就航先を見つけることは優先度が高い**。**他地域と連携したビジネス化**の検討は重要
- 使う人がいないとビジネスは成り立たないので、観光以外にも各地域でこういったビジネスの可能性があるのか**地域の事業者から意見を聞く等**の検討することも重要

事業者 B

- **国や県の取組に関する情報共有**は重要。また、学識者と意見交換できる場も貴重
- 事業化を検討する**様々な立場の方々と意見交換**をしたい
- 事業者のビジネス領域との関係から、**分科会で扱う内容の線引きは慎重に整理**が必要
- 淡路エリアで分科会を検討するのであれば、**大阪・神戸・淡路のエリア一体として検討**すべき

事業者 C

- 事業者視点で実装を考える際、**需要が定常的にあるのか**が重要
- 特定の地域だけを捉えて誘致されても事業者側の立場からすると事業化は検討しづらい。**広域的な視点で議論**していただきたい（但し、**事業形態によって広域性の観点は必要性は異なってくる**）
- インフラを県として整備する等、強い意志表示を示してもらえると検討しやすい

事業者 D

- 兵庫県は多様な地域があるため、**各地域で異なる課題やニーズを抽出**することは有意義
- 公共の会議なので閉鎖的にすることは難しいと思うが、参加者を拡げ過ぎると議論が進まない等の弊害もある。意義のある議論をするのであれば、**ある程度参加者を絞る**ことも重要
- **地元同意や候補地選定に関する支援**に繋がるような場になるとありがたい

地域分科会の設置に向けた検討

● 分科会の方向性について当会議構成員（事業者）への聞き取り

事業者 E

- **就航先（他自治体との連携）を見つける**ための働きかけをしてもらいたい
- **事業化にあたり必要なデータ**について、**県でも調査**いただき示してもらえるとありがたい
- 県側からも**活用可能性がある地域等について提案**してもらいたい
- **実装後の課題を話し合う場も大事**であり、単年度実施ではなく、長期的な取組にしてもらいたい

事業者 F

- 地域分科会には**社会受容性向上の役割**を期待している。但し、開発や実装時期が流動的なため、**過度な期待とならないようなコントロール**が重要
- 地元自治体や関係団体等を個別に訪問することは事業者として負担が大きい。ワンストップで**地域との関係が構築**できる場があるとありがたい
- 初期的な実装が沿岸部であれば、**神戸空港が重要**だと捉えている

事業者 G

- 事業化を進めるにあたり、**住民理解を得ることが今後必要**となるため、協力をお願いしたい
- 周遊以外で事業化を目指すのであれば、**広域連携等のネットワーク形成**が重要
- 事業化に向けた具体的な話になる程、各社のビジネス領域になるため、参加者を絞ることが必要となる。一方で、広く参加を呼び掛けた場合、内容が一般論的なものになってしまうため、地域分科会の実施目的に照らしながら、**会議で取り扱う内容等は整理が必要**。

(参考) 豊岡市 ※先進市町

- 民間事業者の事業実現のためには、就航先の候補となる地域が連携し、事業者や利用者にとってより魅力的な地域へと昇華するとともに、近隣地域の**空飛ぶクルマへの理解醸成や機運醸成が必要**
- まずは連携を進めるために、近隣地域が**事業者が進める空飛ぶクルマ事業を知り**、空飛ぶクルマの**可能性を感じてもらう**ことが必要

地域分科会の設置に向けた検討

● 分科会の方向性（案）について

瀬戸内(大阪湾+瀬戸内) エリア【県南部】

但馬エリア【県北部】

①就航策の発掘・VP整備(候補地選定)への支援

- 就航先(地域)の理解醸成・事業化に向けた意見交換
- 活用可能性がある地点等の地域情報について、地域と空クル事業者等との情報共有

②行政協議・地元同意への支援

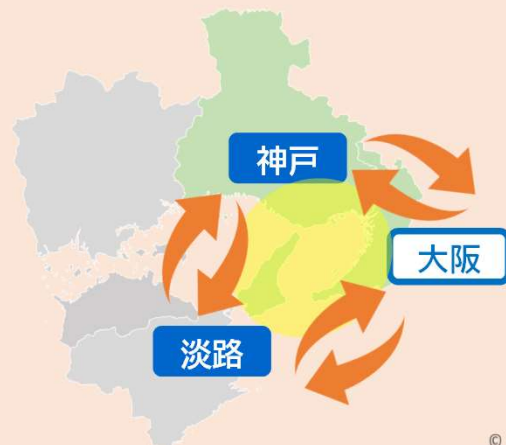
- 技術的な課題に対する助言が必要な場合に県・市関係部局への仲介
- 住民理解促進のための説明会やイベント等の協力実施

③観光面以外でのビジネス利用検討への支援

- 各地域の課題やニーズを把握し、ビジネスの可能性を検討するため、地域の事業者等と意見交換

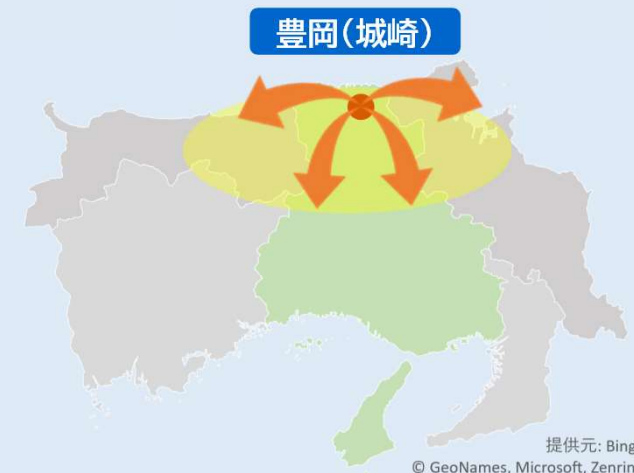
- 先進的に取り組む大阪に近接し、大都市圏である神戸や観光資源豊富で瀬戸内方面への玄関口となる淡路島があることから、大阪・神戸の大都市圏と淡路島を一体として事業化の可能性を検討

※段階的に播磨・瀬戸内方面との連携も検討



提供元: Bing
© GeoNames, Microsoft, Zenrin

- 先行的な取組が進む豊岡(城崎)での実装を目指すため、北近畿エリアでの就航先・連携先を検討



提供元: Bing
© GeoNames, Microsoft, Zenrin